

④ SPOD将来構想

平成28年3月の総会で承認された「SPODの将来構想」に基づき、SPOD事業を実施している。今年度は、長期的方針の達成に向けた取組を進めた。

具体的には、長期的方針2の「SPODフォーラムを国内最高の教職員研修の機会にする」ため、受講者からの事後アンケートや事業評価委員会の意見等を踏まえ、「既存のFD・SDプログラムをフォーラムに集約」すべく、職務別能力開発研修を始めとした各種研修プログラムをSPODフォーラムに取り入れた。次回のSPODフォーラムでは、「SD担当者研修」「カリキュラムコーディネーターのための基礎知識」や、今年度好評であったプログラムやレベル別プログラムについてもSPODフォーラム内で実施する予定である。また、長期的方針3「SDの取り組みを発展させる」では、SPOD内講師派遣事業のプログラムリストにSDプログラムを増やす取組が功を奏し、昨年度に引き続き「学生支援」や「危機管理」のカテゴリーに含まれるSDプログラムを選択する加盟校が増えてきている。今後も、効率の良い運営を図るため、担当講師を各県に増やす試みを進めていく。長期的方針4「FDの取り組みは焦点化して取り組む」については、多くの受講者の集まるSPODフォーラムを活用して「FD担当者研修」を実施することで、効率的にFD担当者を支援できるよう工夫している。長期的方針5の「持続可能なSPODの組織体制を構築する」についても、SPODのSD業務及びSPOD運営を担う人員の人件費一人分をSPOD経費から支出していることに加え、SPODフォーラムのプログラムガイドブックを冊子からホームページ掲載に変更することで印刷経費を抑えるなど、SPODの「安定的な財政基盤を維持する」ための土台作りを進めている。

こうした取組を踏まえ、長期的方針1「能力開発の地域ネットワークのリーダーとしてのプレゼンスを高めていく」ための取組を今後も継続していく。

SPODの将来構想（平成28年3月24日ネットワーク総会決定より抜粋）

長期的方針 ※～平成35年度

1. SPODという名称は継続的に使用する
能力開発の地域ネットワークのリーダーとしてプレゼンスを高めていく
2. SPODフォーラムを国内最高の教職員研修の機会にする
既存のFD・SDプログラムをフォーラムに集約する
ポスターセッションなどの相互研修機能を強化する
3. SDの取り組みを発展させる
SD義務化などの政策へ対応する
SDのプログラムおよび教材を開発する
講師派遣事業を行う
4. FDの取り組みは焦点化して取り組む
SPODフォーラムにおいて多様なFDを提供する
各加盟校でのFD担当者の養成を支援する
加盟校で実施するプログラムを公開する
5. 持続可能なSPODの組織体制を構築する
各加盟校のFD、SD戦略に組み込む
長期的にSPODフォーラムの開催校を確定する
安定的な財政基盤を維持する

⑤ 情報提供サービス

SPODでは、活動内容やその成果の周知のため「研修プログラムガイド」「活動報告書」「ホームページ更新・管理、メールマガジンの発行」等を中心に情報提供を行っている。

以下に各項目に沿って詳細を記載する。

1) 研修プログラムガイド2019の発行

SPODでは、加盟校内で開催され、かつ加盟校教職員が相互に参加可能なFD・SDプログラムを網羅的に掲載した研修プログラムガイドを毎年発行し、加盟校の全教職員（約7,000人）に配付している。これにより、各加盟校の教職員は、自身の希望するプログラムを計画的に受講するために活用することができ、1月末までの受講者数は延べ2,000名以上となった。また、遠隔テレビ会議システムを活用したプログラムを1講座、eラーニングによるプログラムを1講座配信しており、当日対面の研修会場へ足を運ばない場合も遠隔会場やインターネット上で受講できるため、好評を得ている。

2) 令和元年度SPOD活動報告書の発行

今年度行ったSPOD事業の活動をまとめた本冊子「令和元年度SPOD活動報告書」を作成し、各関係機関に配付するとともにSPODホームページに公開予定である。また、本報告書を基に、SPOD事業評価委員による事業評価を書面で行う予定である。

3) ホームページ更新・管理、メールマガジンの発行

SPODフォーラムを始め、各種プログラムの開催情報や研修資料、会議の議事概要や資料等をSPODホームページへ掲載した。また、研修等のイベントやSPODに関する各種情報などについて発信を行うSPODメールマガジンを、2ヶ月に1回程度約300名（全加盟校SPOD事務担当者を含む）の登録者に向けて配信した。さらに、加盟校からもイベント等の開催案内があり、加盟校内においてメール等で情報共有するなど、ネットワークを活かした情報発信を行っている。

4) その他

「FD・SDに関する調査研究」のとおり、昨年度に引き続き、大学行政管理学会で調査研究の成果発表を行った他、教育学術新聞（発行元：日本私立大学協会）に「SPODフォーラム2019」の記事が掲載されるなど、全国の高等教育機関へ向けた情報発信も行った。さらに、他地区のFD・SD推進組織から訪問調査を受け、SPODの運営体制等に関する情報交換を行った。



(2) FD事業

① FD担当者研修の実施・公開

FDを企画・運営・評価するために必要となる基礎的な知識と技能の習得を目的として、「FD担当者研修－カリキュラムコーディネーターのための基礎知識－」を実施した。本研修は、昨年度に引き続きSPODフォーラムのプログラムとして実施し、全国から40名（うち加盟校13名）の教職員が参加した。受講者からは、「自大学のカリキュラムの問題点を認識することができた」「カリキュラム改革の視点を持てた」等のコメントがあり、各大学でFD担当者を養成するための支援を充実させることができた。本研修は、次年度もSPODフォーラムのプログラムとして実施する予定である。



日程	プログラム名	開催校	受講者数			参加校数	満足度
			対面	遠隔	計	対面	%
8月30日(金)	FD担当者研修 ※SPODフォーラムで実施	愛媛大学	40	0	40	33	100

② 新任教員研修の実施・公開

本研修は、各コア校が主催する新任教員研修のどれを受講しても同様の効果を得られるよう、コア校間でプログラムを標準化している。各コア校で実施した新任教員研修には、加盟校14校から59名（国立大学4校37名、公立大学2校4名、私立大学・短期大学8校18名）、加盟校外から1校3名の教員が参加し、アンケート回答者全員から「満足」という回答を得た。

日程	プログラム名	開催校	受講者数			参加校数	満足度
			対面	遠隔	計	対面	%
6月29日(土)～30日(日)	授業デザインワークショップ(第32回)	愛媛大学	15	0	15	6	100
8月22日(木)～23日(金)	授業設計ワークショップ	徳島大学	12	0	12	3	100
9月3日(火)～4日(水)	学生の学びを支援する授業準備ワークショップ	高知大学	8	0	8	2	100
9月4日(水)～5日(木)	授業デザインワークショップ(第33回)	愛媛大学	11	0	11	5	90
9月12日(木)～13日(金)	新任教員研修会「よりよい授業のためのFDワークショップ」	香川大学	16	0	16	6	92.9
			62	0	62	22	96.58



標準化された本プログラムは、授業設計やシラバスの作成方法について主にグループワーク形式で学ぶものである。本プログラムは新任教員以外も受講が可能であり、自身の授業を見直すきっかけになるとともに授業改善に役立つ内容となっている。受講者からは「専門分野の異なる複数の先生方と共同で授業を設計することで、新たな視点や刺激を得ることができた」「シラバス作成について、授業の目的・到達目標が明確なほど授業構想がしっかりと作成できると感じ、また、ゴールである『付けたい

力』に向かわせるための支援として、流れを考えることの大切さを再確認した」「アイスブレイクに十分時間をとることで、その後のグループワークが格段にうまくいくことが学べた」等のコメントがあった。特に、徳島大学開催の「授業設計ワークショップ」では、講義部分を事前にビデオ教材で学習し、事前課題を提出後に研修に参加するという「反転授業」形式を取り入れている。講義時間の短縮に加え、事前に研修の目的や内容を理解した上で参加できるため、受講者からも効率的に受講できると好評を得ている。



新任教員研修プログラムの基準枠組対応表

国立教育政策研究所が作成した 新任教員研修プログラムの基準枠組			徳島大学	香川大学	愛媛大学	高知大学
学習領域	学習目標	実施 区分	研修名:授業設計ワークショップ	研修名:よりよい授業のための FDワークショップ	研修名:授業デザインワークショップ	研修名:学生の学びを支援する 授業の準備 (新任教員FDワークショップ)
			日程:2日間	日程:1泊2日	日程:1泊2日と2日間	日程:2日間
1. 大学コミュニ ティーについて の理解	1-1 大学に関す る基礎知識を得る。	各大学	新任教員オリエンテーション	新任教員オリエンテーション	新任教員オリエンテーション	新任教員オリエンテーション
	1-2 同僚とのコ ミュニケーションをと る。	共通	「授業設計ワークショップ」研修全体を通して	「よりよい授業のためのFDワークショップ」 研修全体を通して	「授業デザインワークショップ」 研修全体を通して	「新任教員FDワークショップ」 研修全体を通して
2. 授業のデザイ ン(目標設定、実 施計画、成績評 価)	2-1 授業デザイ ンのための基礎知 識を得る。	共通	事前学習教材「アクティブ・ラーニング」 ワーク「授業設計の基本」 講義・ワーク「授業計画」	グループワークⅠ「学生の考える良い授業」 講義Ⅰ「シラバスの書き方」	講義「学習者の学びを促進する様々な授業 方法」 講義「コース設計&クラス設計」 講義「シラバスの書き方&学習評価の基本」	グループワークⅠ「良い授業とは？」 ミニレクチャーⅠ「目標設定と授業計画、 シラバスの書き方」 ミニレクチャーⅡ「コースデザインの考え方」
	2-2 授業デザイ ンのためのスキルを 修得する。	共通	事前学習教材「アクティブ・ラーニング」 ワーク「授業設計の基本」 講義・ワーク「授業計画」	グループワークⅡ「全学共通科目の開発Ⅰ」	グループワーク「共通教育科目の開発」	グループワークⅠ「良い授業とは？」 グループワークⅡ「共通教育科目の開発①」
3. 教育の実践	3-1 教育実践に 関する基礎知識を 習得する。	共通	事前学習教材「アクティブ・ラーニング」 ワーク「授業設計の基本」 講義・ワーク「授業計画」 模擬授業実施	講義Ⅱ「学生参加型授業の技法」	講義「学習者の学びを促進する様々な授業 方法」	ミニレクチャーⅢ「様々な授業形態、それぞ れのメリットとデメリット」
	3-2 学習者中心 の授業および学習 支援を実現し、学生 の学習を促進する。	共通	事前学習教材「アクティブ・ラーニング」 ワーク「授業設計の基本」 ワーク「自身の教育理念」 講義・ワーク「授業計画」 模擬授業実施	グループワークⅢ「全学共通科目の開発Ⅱ」 グループワークⅣ「全学共通科目の開発Ⅲ」 グループワークⅤ「全学共通科目の開発Ⅳ」 グループ発表Ⅰ「中間発表」 グループ発表Ⅱ「最終発表」	グループワーク「共通教育科目の開発」 「シラバス内容の発表」 「模擬授業」	グループワークⅢ「共通教育科目の開発②」 グループワークⅣ「共通教育科目の開発③」 グループワークⅤ「共通教育科目の開発④」 グループ発表Ⅰ「グループワーク中間報告」 グループ発表Ⅱ「模擬授業」
	3-3 学生と適切 なコミュニケーション をとる。	共通	事前学習教材「アクティブ・ラーニング」 ワーク「自身の教育理念」 ワーク「自身の教育理念」 講義・ワーク「授業計画」 模擬授業実施	講義Ⅱ「学生参加型授業の技法」 グループワークⅢ「全学共通科目の開発Ⅱ」 グループワークⅣ「全学共通科目の開発Ⅲ」 グループワークⅤ「全学共通科目の開発Ⅳ」 グループ発表Ⅰ「中間発表」 グループ発表Ⅱ「最終発表」	講義「学習者の学びを促進する様々な授業 方法」 グループワーク「共通教育科目の開発」 「シラバス内容の発表」 「模擬授業」	ミニレクチャーⅢ「様々な授業形態、それぞ れのメリットとデメリット」 グループワークⅢ「共通教育科目の開発②」 グループワークⅣ「共通教育科目の開発③」 グループワークⅤ「共通教育科目の開発④」 グループ発表Ⅰ「グループワーク中間報告」 グループ発表Ⅱ「模擬授業」
4. 成績の評価、 フィードバック	4-1 教育の評価 やフィードバックに 関する基礎知識 を得る。	共通	事前学習教材「アクティブ・ラーニング」 事前学習教材「成績評価の仕方」 ワーク「授業設計の基本」 模擬授業実施	講義Ⅲ「よりよい学習評価のために」	講義「シラバスの書き方&学習評価の基本」	ミニレクチャーⅣ「様々な成績評価、その目 的と方法」
	4-2 適切な成績 評価およびフィード バックを行う。	共通	事前学習教材「アクティブ・ラーニング」 事前学習教材「成績評価の仕方」 ワーク「授業設計の基本」 模擬授業実施	グループワークⅢ「全学共通科目の開発Ⅱ」 グループワークⅣ「全学共通科目の開発Ⅲ」 グループワークⅤ「全学共通科目の開発Ⅳ」 グループ発表Ⅰ「中間発表」 グループ発表Ⅱ「最終発表」	グループワーク「共通教育科目の開発」 「シラバス内容の発表」 「模擬授業」	グループワークⅢ「共通教育科目の開発②」 グループワークⅣ「共通教育科目の開発③」 グループワークⅤ「共通教育科目の開発④」 グループ発表Ⅰ「グループワーク中間報告」 グループ発表Ⅱ「模擬授業」
5. 教育活動の自 己改善・キャリア 開発、教育開発	5-1 授業改善・ キャリア開発や教育 開発に関する基礎 知識を習得する。	共通	ワーク「自身の教育理念」 模擬授業準備、実施 模擬授業の振り返り プログラムのまとめ	グループワークⅢ「全学共通科目の開発Ⅱ」 グループワークⅣ「全学共通科目の開発Ⅲ」 グループワークⅤ「全学共通科目の開発Ⅳ」 グループ発表Ⅰ「中間発表」 グループ発表Ⅱ「最終発表」	グループワーク「共通教育科目の開発」 「シラバス内容の発表」 「模擬授業」	グループワークⅢ「共通教育科目の開発②」 グループワークⅣ「共通教育科目の開発③」 グループワークⅤ「共通教育科目の開発④」 グループ発表Ⅰ「グループワーク中間報告」 グループ発表Ⅱ「模擬授業」
	5-2 自己改善・ キャリア開発や教育 開発のためのスキ ルを修得する。	共通	ワーク「自身の教育理念」 模擬授業準備、実施 模擬授業の振り返り プログラムのまとめ	グループワークⅢ「全学共通科目の開発Ⅱ」 グループワークⅣ「全学共通科目の開発Ⅲ」 グループワークⅤ「全学共通科目の開発Ⅳ」 グループ発表Ⅰ「中間発表」 グループ発表Ⅱ「最終発表」	グループワーク「共通教育科目の開発」 「シラバス内容の発表」 「模擬授業」	グループワークⅢ「共通教育科目の開発②」 グループワークⅣ「共通教育科目の開発③」 グループワークⅤ「共通教育科目の開発④」 グループ発表Ⅰ「グループワーク中間報告」 グループ発表Ⅱ「模擬授業」

③ ティーチング・ポートフォリオ研修の実施・公開



「ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ」を、愛媛大学で7月及び9月に開催し、加盟校内から5校16名（国立大学2校12名，私立大学1校1名，高等専門学校2校3名）が参加した。受講後のアンケートでは、「理念や教育方針など普段深く考える機会のなかった部分について熟考し，自身の在り方・教育の仕方を俯瞰的に考えることができたのは意義が大きかった」「自身の教育活動を振り返る良いきっかけになり今後の教育改善に活かせると思った。また，自身の教育理念とその戦略を即座に簡潔に語れるようになった」等のコメントがあり好評だった。また今年度は，プログラムの一部のみではあるが，外国人教員3名を通訳者と一緒にオブザーバーとして受け入れた。本研修は，今後のワークショップで必要となるメンターの育成も目的の一つとしており，受講者のメンタリングスキル修得のためのプログラムも兼ねている。

「理念や教育方針など普段深く考える機会のなかった部分について熟考し，自身の在り方・教育の仕方を俯瞰的に考えることができたのは意義が大きかった」「自身の教育活動を振り返る良いきっかけになり今後の教育改善に活かせると思った。また，自身の教育理念とその戦略を即座に簡潔に語れるようになった」等のコメントがあり好評だった。また今年度は，プログラムの一部のみではあるが，外国人教員3名を通訳者と一緒にオブザーバーとして受け入れた。本研修は，今後のワークショップで必要となるメンターの育成も目的の一つとしており，受講者のメンタリングスキル修得のためのプログラムも兼ねている。

日 程	プログラム名	開催校	受講者数			参加校数	満足度
			対面	遠隔	計	対面	%
7月6日(土)～7日(日)	ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ	愛媛大学	8	0	8	3	100
9月11日(水)～13日(金)	ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ	愛媛大学	8	0	8	3	100
			16	0	16	6	100

④ 各種FDプログラムの開発・実施

過去のアンケート結果や教育現場の課題を踏まえ，アクティブ・ラーニングや学習評価，シラバス作成法，講義法等多岐にわたるプログラムを開講した。

徳島大学では，今年度から新しく「すぐ使える90分セミナー」と題したプログラムを実施し，1ヶ月に1回の間隔で「教学IR」をはじめとする10プログラムを開講した。その事後アンケートから，多くの参加者が自身の授業の中で使える事例をブラッシュアップできたことが分かった。



令和元年度SPOD FD, FD・SD共通, プレFDプログラム一覧

令和2年2月28日現在

日 程	プログラム名	開催校	受講者数			参加校数			満足度 %
			対面	遠隔	計	対面	遠隔		
4月3日(水)	会議マネジメント	愛媛大学	6	0	6	2	0	100	
4月5日(金)	大学授業入門	高知大学	10	0	10	1	0	100	
4月26日(金)	すぐ使える90分セミナー「授業設計」	徳島大学	13	0	13	4	0	100	
5月9日(木)	学生の学びやすさと学習意欲を高める授業設計-課題分析図の活用-	愛媛大学	10	0	10	4	0	100	
5月9日(木)	効果的なグループワークの進め方	愛媛大学	19	0	19	5	0	100	
5月15日(水)	ジグソー学習法入門	愛媛大学	8	0	8	4	0	100	
5月16日(木)	アクティブラーニング入門セミナー	愛媛大学	20	0	20	3	0	100	
5月16日(木)	効果的なeラーニングの活用方法(超入門編)	愛媛大学	11	0	11	4	0	100	
5月17日(金)	学習評価の基本	愛媛大学	18	0	18	2	0	92.9	
5月17日(金)	ARCS動機づけモデルを活用した学習意欲を高める授業設計	愛媛大学	8	0	8	4	0	100	
5月24日(金)	すぐ使える90分セミナー「教育研究」	徳島大学	10	0	10	4	0	90	
6月28日(金)	すぐ使える90分セミナー「ICT活用」	徳島大学	15	0	15	2	0	100	
7月26日(金)	すぐ使える90分セミナー「学生支援」	徳島大学	20	0	20	2	0	93.3	
8月20日(火)	講義のための話し方入門	愛媛大学	9	0	9	5	0	100	
9月5日(木)	講義に小グループ・ペア学習を取り入れた授業デザイン-考え方と進め方-	高知大学	15	0	15	5	0	100	
9月5日(木)	はじめてみよう！アクティブ・ラーニング	高知大学	11	0	11	4	0	100	
9月6日(金)	グループワークの技法	高知大学	11	0	11	4	0	100	
9月10日(火)	大人数講義法の基本(遠隔配信のみ)	愛媛大学	0	43	43	0	4	96	
9月11日(水)～13日(金)	ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ	愛媛大学	8	0	8	3	0	100	
9月12日(木)	eラーニング活用(入門編) -学習支援システムMoodleを活用してきめ細やかな学習支援を実現しよう-	愛媛大学	10	0	10	3	0	100	
9月17日(火)	動画教材作成法	愛媛大学	16	0	16	3	0	100	
9月20日(金)	すぐ使える90分セミナー「アイスブレイク」	徳島大学	13	0	13	4	0	100	
9月25日(水)	大人数講義をもっとうまくやるためのコツ	香川大学	11	0	11	1	0	100	
9月25日(水)	始めよう！アクティブラーニング型授業-話し合いの技法-	香川大学	12	0	12	2	0	100	
9月26日(木)	始めよう！アクティブラーニング型授業-教え合いの技法-	香川大学	8	0	8	2	0	100	
9月26日(木)	始めよう！アクティブラーニング型授業-問題解決の技法-	香川大学	7	0	7	2	0	100	
9月26日(木)	事例から学ぶ問題発見・解決型授業のコツ	香川大学	9	0	9	1	0	71.4	
9月27日(金)	始めよう！アクティブラーニング型授業-図解の技法-	香川大学	2	0	2	1	0	100	
9月27日(金)	始めよう！アクティブラーニング型授業-文章作成の技法-	香川大学	4	0	4	1	0	100	
9月27日(金)	初心者のためのクlicker講座	香川大学	2	0	2	1	0	100	
9月27日(金)	秋季TA・SA講習	高知大学	35	0	35	1	0	94.1	
9月30日(月)～10月1日(火)	ファシリテーション力養成道場	高知大学	32	0	32	2	0	100	
10月25日(金)	すぐ使える90分セミナー「教学IR」	徳島大学	5	0	5	1	0	100	
11月22日(金)	すぐ使える90分セミナー「シラバス作成」	徳島大学	2	0	2	1	0	100	
12月5日(木)	学生の授業時間外学習を促すシラバス作成法	愛媛大学	6	19*	25	2	7*	96	
12月20日(金)	すぐ使える90分セミナー「入試改革」	徳島大学	8	0	8	2	0	100	
12月26日(木)	大学教育カンファレンスin徳島	徳島大学	124	0	124	13	0	100	
1月6日(月)	学生の学びを促すシラバスの書き方	香川大学	10	0	10	3	0	90	
1月6日(月)	基礎から学ぶ学習評価法	香川大学	11	0	11	4	0	90.9	
1月6日(月)	学生参加型授業の技法	香川大学	12	0	12	4	0	91.7	
1月7日(火)	シラバス・授業を改善しよう！	香川大学	7	0	7	1	0	66.7	
1月7日(火)	事例から学ぶ授業外学修促進のコツ	香川大学	7	0	7	1	0	100	
1月22日(水)	シラバスブラッシュアップワークショップ	高知大学	8	0	8	1	0	100	
1月24日(金)	すぐ使える90分セミナー「学習評価」	徳島大学	9	0	9	2	0	100	
2月6日(木)	新任教員のためのリフレクションセミナー	高知大学	14	0	14	3	0	92.9	
2月6日(木)	能動的学修支援者必須！グループワークのためのファシリテーション入門	高知大学	3	0	3	2	0	100	
2月7日(金)	春季TA・SA講習	高知大学	170	0	170	1	0	90.7	
2月14日(金)	すぐ使える90分セミナー「授業評価」	徳島大学	6	0	6	2	0	100	
2月17日(月)	英語で授業をしたい教員のためのワークショップ	愛媛大学	12	0	12	3	0	100	
2月18日(火)	留学生とのコミュニケーション	愛媛大学	13	0	13	3	0	100	
合 計			810	62	872	135	11	97.1	

*eラーニング受講者

(3) SD事業

① SDプログラムの体系的・段階的・継続的实施

今年度実施した「大学人・社会人としての基礎力養成プログラム（レベルⅠ～Ⅲ）」の研修では、加盟校18校から合計179名（国立大学5校138名、公立大学2校7名、私立大学・短期大学8校29名、高等専門学校3校5名）の職員が参加した。このうち、5月に香川大学で開催された新任職員研修（レベルⅠ）は、四国地区の国公立大学等の新任職員が集まる研修で、四国4県の持ち回りで毎年実施している。本研修は、職員として必要な基礎知識の習得だけでなく、設置形態を越えた職員間の相互交流・関係づくりの場を提供することも目的としており、受講者からは、「研修中のワークや情報交換会など、多くの人と接する機会があり、他大学の情報も得られる絶好の機会であった」「日頃の業務にすぐ活かせる内容だったので、心がけて実践していきたいと思った」「他大学の職員の話が聴くことができ、視野が広がった」等のコメントが多数寄せられた。



また、11月に開催されたレベルⅠ研修では、今年度から受講対象を「係員相当級の職員」から「大学職員として3年以上の経験のある係員相当級の職員又はこれに相当するもの」と明確にし、より受講者のニーズに寄り添ったプログラムとなるよう取り組んだ。講義受講後のアンケートでは、「大学職員歴10年近くの人も多く、組織や部署だけでなく経験年数の違う人と意見交換ができ、良い刺激を受けるとともにとても良い経験になった」「今後は上司をサポートしつつ、後輩にもアドバイスができるようになるよう意識しながら日々の業務に取り組みたい」等の前向きな意見が多く見られ、受講対象を明確化したことにより、講義内容もより一層理解を深められる充実したものとなった。

SPODフォーラムでは、「職員のためのプロジェクトマネジメント」や「スタッフ・ポートフォリオ作成ワークショップ」などの各種SDプログラムに加え、職務別能力開発研修として社会連携系や学務系など職務別のプログラムを提供することで、幅広いニーズに応えることができた。

② 次世代リーダー養成プログラムの実施

「次世代リーダー養成ゼミナール」（2年間で8回実施）は、将来、所属大学でのトップリーダーや高等教育界のリーダーとして大学等の経営を担うために必要な知識、技能、態度を身につけた人材を養成することを目的としており、今年度で記念すべき10期目を迎えた。今期は9期生5名と10期生6名の計11名（国立大学3校5名、公立大学1校1名、私立大学・短期大学3校5名）で実施した。プログラムは「講義」「プロジェクト」「SD実践・演習」の3つの柱で構成されており、受講生には主体的・自主的に学ぶ姿勢が求められる。



ゼミナールを修了するためには、毎回課されるレポートやプレゼンテーション課題をこなす必要があり、各自が企画したプロジェクトの実施とそのレポート作成も含まれる。今期で9期生5名が修了したことにより、本ゼミナール修了生は63名となった。修了生は、ゼミナールでの経験を活かし、責任あるポストに配属されて様々な業務の企画・実施を行ったり、SPODや学内外の研修講師を務めたりするだけでなく、積極的に「SPOD-スタッフ・ディベロップメント・コーディネーター（以下、SPOD-SDC）」の資格を取得するなど、目覚ましい活躍をしている。



なお、本ゼミナールの一部講義については、高等教育の第一人者を講師に招いて開講しており、ゼミナール受講生以外も受講できるよう、SPOD加盟校の教職員にも開放している。今年度は延べ67名が開放講義に参加した。

■次世代リーダー養成ゼミナール日程

日 程		開催校	受講者数			参加校数	満足度 (%)
			対面	遠隔	計	対面	
第1回	5月22日(水)～24日(金)	愛媛大学	11	0	11	7	-
第2回	7月19日(金)～20日(土)	徳島文理大学	11	0	11	7	-
第3回	10月24日(木)～26日(土)	高知大学	11	0	11	7	-
第4回	1月23日(木)～24日(金)	愛媛大学	11	0	11	7	-
合 計			44	0	44	28	100

■プロジェクトの紹介(9期生)

プロジェクト名	プロジェクトリーダー(9期生)
学生の健康意識向上への取組み	徳島大学技術支援部常三島技術部門地域協働グループ 酒井 仁美
愛媛大学における学生支援を通じた職員の国際業務への意識向上	愛媛大学国際連携支援部国際連携課学生交流チーム 岩田 剛
法人文書管理の最適化に向けた方策の取組み	高知大学総務部総務課総務係 笹山 明伸
学生情報の共有に関する調査プロジェクト ー面接記録の有効活用についてー	徳島文理大学学生部学生支援課 原 里沙
松山短期大学における学生の大学生活への満足度について ー授業への出席率及び成績の修得状況の観点からー	松山大学短期大学事務部短期大学事務室 山田 悠起

■SPOD加盟校の職員に開放した講義

日 程	プログラム名	開催校	受講者数	参加校数
5月23日(木)	次世代リーダー養成ゼミナール(第1回)「SD論」	愛媛大学	6	4
5月23日(木)	次世代リーダー養成ゼミナール(第1回)「高等教育論」	愛媛大学	6	4
5月24日(金)	次世代リーダー養成ゼミナール(第1回)「大学のガバナンスとマネジメント」	愛媛大学	4	4
7月19日(金)	次世代リーダー養成ゼミナール(第2回)「SD実践Ⅱ」 (9期生による模擬講義)	徳島文理大学	19	3
7月20日(土)	次世代リーダー養成ゼミナール(第2回)「高等教育におけるIR」	徳島文理大学	7	3
7月20日(土)	次世代リーダー養成ゼミナール(第2回)「高等教育政策論」	徳島文理大学	5	2
10月24日(木)	次世代リーダー養成ゼミナール(第3回)「人材育成ビジョン」	高知大学	3	2
10月25日(金)	次世代リーダー養成ゼミナール(第3回)「SD実践Ⅱ」 (9期生による講義)	高知大学	14	4
10月26日(土)	次世代リーダー養成ゼミナール(第3回)「教育関係法規」	高知大学	3	1
合 計			67	27

※受講者数はゼミナール生を除く人数



③ 講師養成によるSDの継続的な実施

SPODでは、研修講師として必要な心構え、知識、技法を習得させることにより、将来のSPOD研修プログラムを担当するSD講師として育成することを目的として、学内での研修で講師を務める可能性のある職員や将来SD講師になる意欲のある職員を対象に講師養成講座を実施している。

今年度はSPODフォーラム2019内のプログラムとして開催され、加盟校外からも多くの受講者が参加した（加盟校内から4名、加盟校外から11名）。本講座は、説得力ある説明のポイントや話し方のレッスン等の要素も含まれており、日常の業務を遂行する上でも活かすことのできる内容となっている。受講者は、自身が設計したSD研修の模擬講義を実際に行い、その様子を撮影したビデオカメラの映像を見返すことで、自身の話し方や立ち振る舞いなどを客観的に見ることができただけでなく、講師や他の受講者からのアドバイスを受けて、各自が今後の課題を見つけることができた。講義後の受講者からのアンケートでは、「客観的に自分のプレゼンを見て評価することができたことが良かった」「プレゼンに対する心構え等を学べた」「動画撮影により、客観的に自分の立ち振る舞いを見られたことが良かった」等のコメントがあった。

今年度開講した「大学人・社会人としての基礎力養成プログラム（レベルⅠ、Ⅱ）」、「SPODフォーラム2019」等の講師のうち、18名が本講座修了者及び次世代リーダー養成ゼミナール修了生であり、いずれも受講者から高い評価を得た。先輩職員がSD研修の講師を担うことのメリットとしては、職員としての自身の経験を取り入れた研修をすることで、受講者が職場での適用イメージを想像しやすい点、受講者が講師をロールモデルとして捉え、自分の将来像を描きやすい点などが挙げられる。職員自らが講師となって次世代の職員を育成していくというサイクル確立に向け、引き続き講師養成に努めていく。

④ SPOD-SDCの輩出

SPOD-SDCは、職員の能力開発に関する知識・技術を修得していると認定された教職員に付与される。今年度は新たに高知大学から1名、高知工科大学から1名、聖カタリナ大学から2名、愛媛大学から3名の計7名を認定した。現在のSPOD-SDC資格認定者は、合計32名となった。

SPODでは、各大学等のSDの自立的運営を目指しており、各加盟校が「SDの義務化」に対応し、自校のSD事業を推進できるよう、SPOD-SDC資格取得者の輩出を積極的に支援している。今年度は、高知大学及び高知工科大学から初めての資格認定者を輩出するなど、近年、資格認定者の所属機関数が増加している。今後も、資格認定者輩出に向けた取組を継続的に実施していく。



日 程	プログラム名	開催校	受講者数			参加校数	満足度 (%)
			対面	遠隔	計	対面	
5月13日(月)～15日(水)	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム(レベルⅠ) 【新任職員研修】	香川大学	94	0	94	13	96.7
6月27日(木)～28日(金)	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム(レベルⅡ)	愛媛大学	36	0	36	13	97.1
9月25日(水)～27日(金)	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム(レベルⅢ)	愛媛大学	25	0	25	11	100
11月7日(木)～ 8日(金)	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム(レベルⅠ)	愛媛大学	24	0	24	10	95.8
8月28日(水)	職員のための「講師養成講座」	愛媛大学	15	0	15	13	93.3
8月29日(木)	職員のためのプロジェクト・マネジメント	愛媛大学	37	0	37	30	91.7
8月29日(木)	スタッフ・ポートフォリオ作成ワークショップ	愛媛大学	27	0	27	25	96.2
合 計			258	0	258	115	95.8